

調査結果

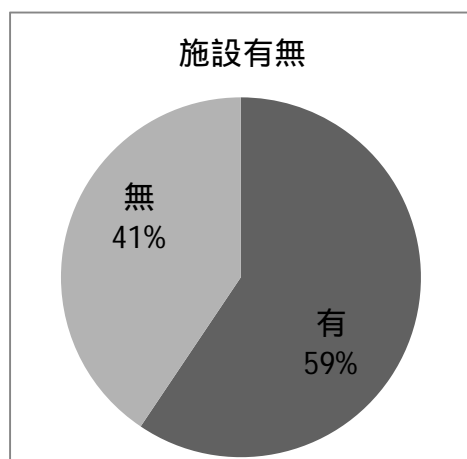
集計については小数点第一位までとし四捨五入した。したがって回答結果によっては合計が100%にならない場合がある。

「情報提供不可」回答施設があるため、結果数と施設一覧数は一致しない

1 施設概要（平成27年10月1日現在）

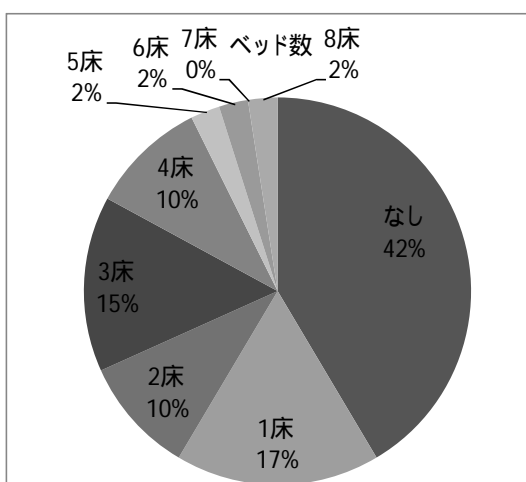
(1) 施設有無（n = 69）

	回答数
有	41（59.4%）
無	28（40.6%）
計	69



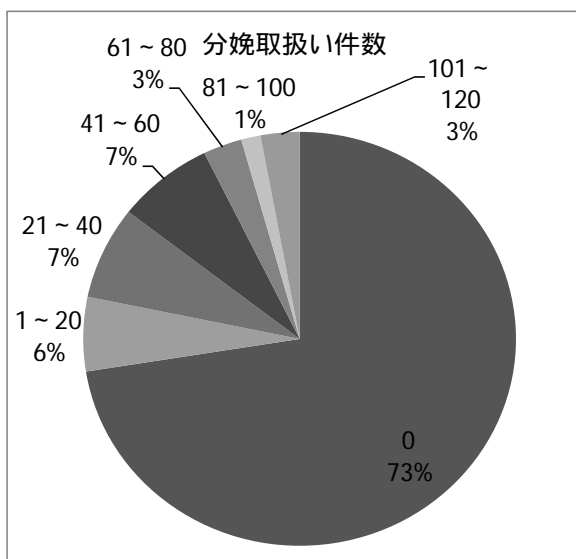
(2) ベッド数（n = 41）

床	回答数
0	17（41.5%）
1	7（10.1%）
2	4（9.8%）
3	6（14.6%）
4	4（9.8%）
5	1（2.4%）
6	1（2.4%）
7	0（0.0%）
8	1（2.4%）
計	41



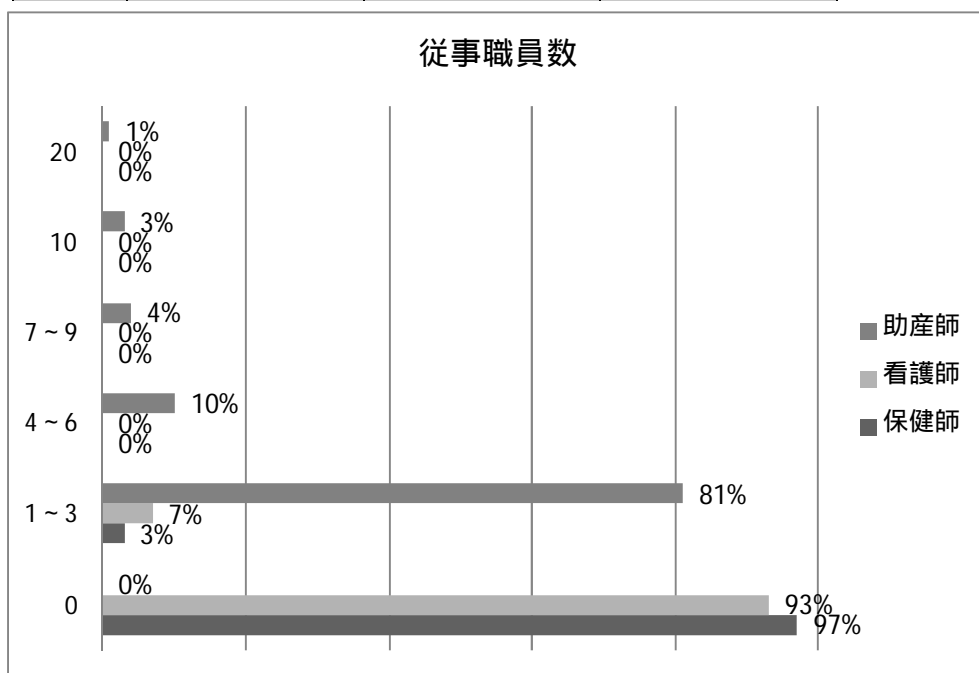
(3) 分娩取扱い件数（平成26年4月～平成27年3月）（n = 69）

件数	回答数
0	50 (72.5%)
1～20	4 (5.8%)
21～40	5 (7.2%)
41～60	5 (7.2%)
61～80	2 (2.9%)
81～100	1 (1.4%)
101～120	2 (2.9%)
計	69



(4) 従事看護職員数（n = 69）

人数	助産師	看護師	保健師
0	0 (0.0%)	64 (92.8%)	67 (97.1%)
1～3	56 (81.2%)	5 (7.2%)	2 (2.9%)
4～6	7 (10.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
7～9	3 (4.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
10	2 (2.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
20	1 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
計	69	69	69



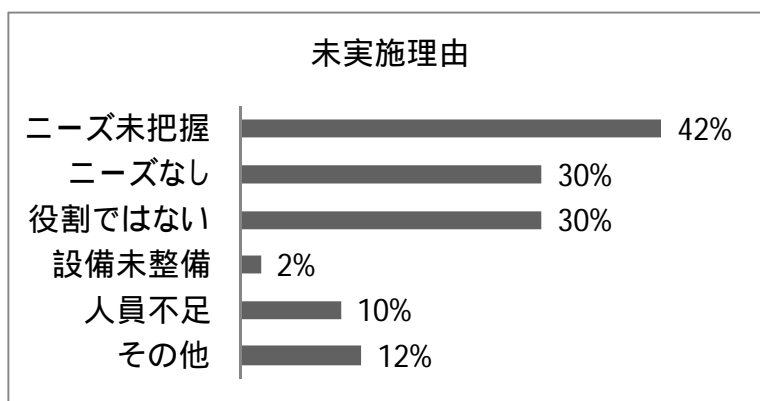
2 パートナー型（妊婦の自宅において実施）産前支援

(1) 実施状況等

医療圏	回答数	実施	未実施		再掲 実施又は相談・考えている
			相談・考えている	考えていない	
横浜北部	12	4(33.3%)	6(50.0%)	2(16.7%)	10(83.3%)
横浜西部	8	3(33.3%)	2(22.2%)	3(33.3%)	5(55.6%)
横浜南部	10	4(40.0%)	6(60.0%)	0(0.0%)	10(100.0%)
川崎北部	5	0(0.0%)	3(60.0%)	2(40.0%)	3(60.0%)
川崎南部	7	1(14.3%)	2(28.6%)	4(57.1%)	3(42.9%)
相模原	6	2(33.3%)	2(33.3%)	2(33.3%)	4(66.6%)
横須賀・三浦	5	2(40.0%)	1(20.0%)	2(40.0%)	3(60.0%)
湘南東部	6	2(33.3%)	3(50.0%)	1(16.7%)	5(83.3%)
湘南西部	3	0(0.0%)	1(33.3%)	2(66.7%)	1(33.3%)
県央	3	0(0.0%)	2(66.7%)	1(33.3%)	2(66.7%)
県西	4	1(25.0%)	2(50.0%)	1(25.0%)	3(75.0%)
計	69	19	30	20	49

(2) 実施していない理由（n = 50、複数回答）

項目	回答数
ニーズが把握できていない	21(42.0%)
ニーズがない	15(30.0%)
自施設の役割ではない	15(30.0%)
設備面が整わない	1(2.0%)
人員不足	5(10.0%)
その他	6(12.0%)
計	63



妊婦健診中に対応。

産後ケア（宿泊型）で手がまわらない。

主に産後の相談に対応している。

助産師が高齢のため、対応できない。

希望・依頼があれば行うが、ほとんどない。

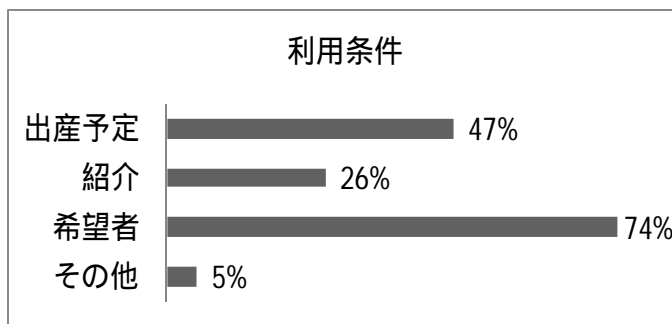
(3) 今後の実施について、「考えていない」「相談があれば考える」と回答した施設が、実施条件と考えること。

- ・ニーズがあれば対応するが、主治医との兼ね合いもある。
- ・市町村との連携、支援項目の明確化
- ・産後ケア事業と同等の待遇等、市町村から金銭面の助成があれば。

- ・施設により方針があるので、出産する病院又は助産院からの依頼であれば、方向性を間違えずに支援できる。
- ・早い時期での支援がわかっているれば対応できる。
- ・近いところ（片道30分程度）であれば出向くことはより可能になる。

(4) 実施施設の利用条件について（n = 19、複数回答）

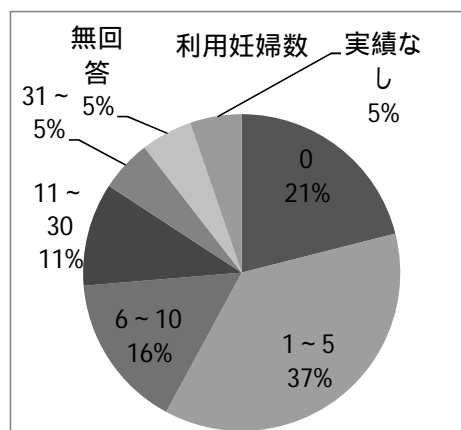
	回答数
自施設で出産予定	9 (47.4%)
出産他施設で、出産施設から紹介がある	5 (26.3%)
出産他施設で、利用を希望	14 (73.7%)
その他	1 (5.3%)
計	29



その他：基本行っていないが、自施設で出産予定で必要と判断した方

(5) 実施施設の平成26年4月～平成27年3月の利用妊婦数（n = 19）

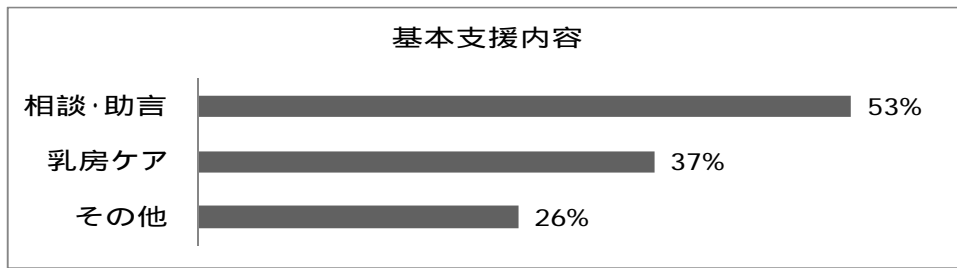
	回答数
0	4 (21.1%)
1～5	7 (36.8%)
6～10	3 (15.8%)
11～30	2 (10.5%)
31～	1 (5.3%)
無回答	1 (5.3%)
設問以降の開設のため実績なし	1 (5.3%)
計	19



(6) 実施している基本支援内容（n = 19、複数回答）

	回答数
妊娠・出産に関する相談・助言	10 (52.6%)
乳房ケア	7 (36.8%)
その他	5 (26.3%)
計	22

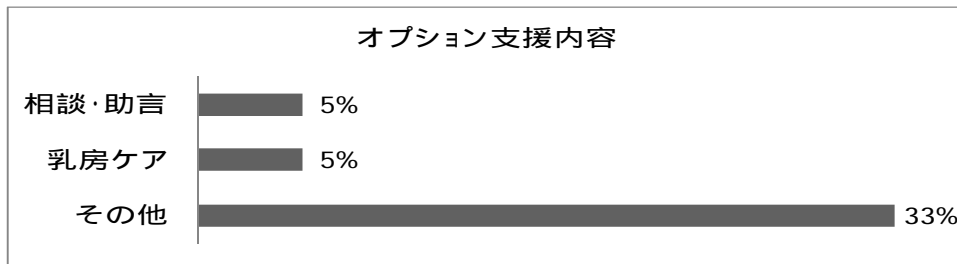
その他：アロマ等のリラクゼーションケア、整体等の骨盤ケア、沐浴指導



(7) 実施しているオプション支援内容 (n = 19、複数回答)

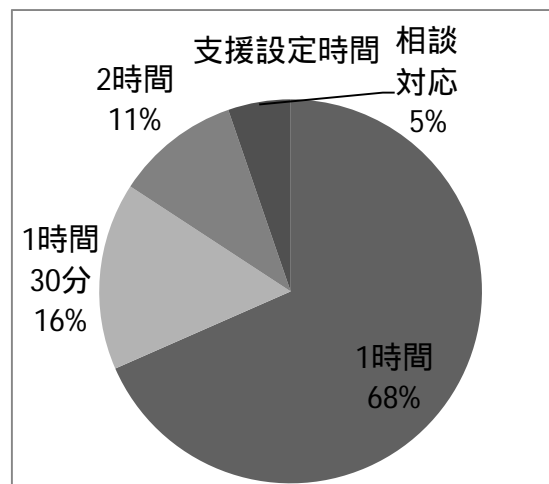
	回答数
妊娠・出産に関する相談・助言	1 (5.3%)
乳房ケア	1 (5.3%)
その他	6 (32.6%)
計	8

その他：アロマ等のリラクゼーションケア、整体等の骨盤ケア、きょうだいの託児、カウンセリング



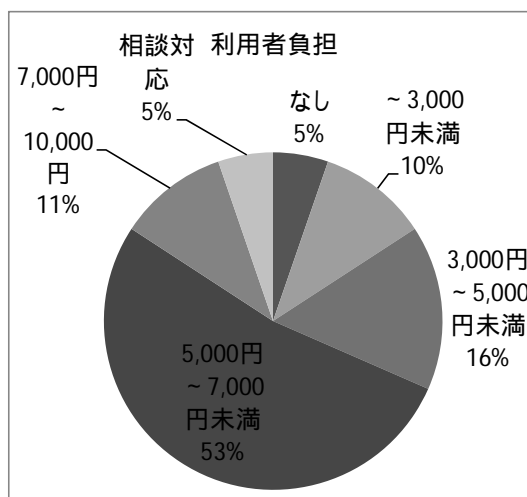
(8) 1回の基本支援を行うために予め設定した時間 (n = 19)

	回答数
1時間	13 (68.4%)
1時間30分	3 (15.8%)
2時間	2 (10.5%)
相談対応	1 (5.2%)
計	19



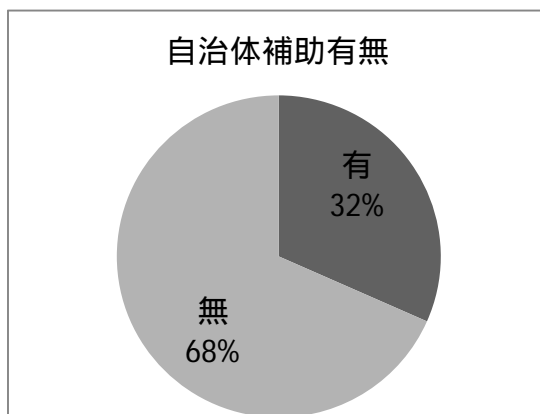
(9) 1回の基本支援を行うために予め設定した利用者負担額 (n = 19)

	回答数
自己負担なし	1 (5.3%)
~ 3,000円未満	2 (10.5%)
3,000円 ~ 5,000円未満	3 (15.8%)
5,000円 ~ 7,000円未満	10 (52.6%)
7,000円 ~ 10,000円	2 (10.5%)
相談対応	1 (5.3%)
計	19



(10) 利用者に対する自治体の補助の有無 (n = 19)

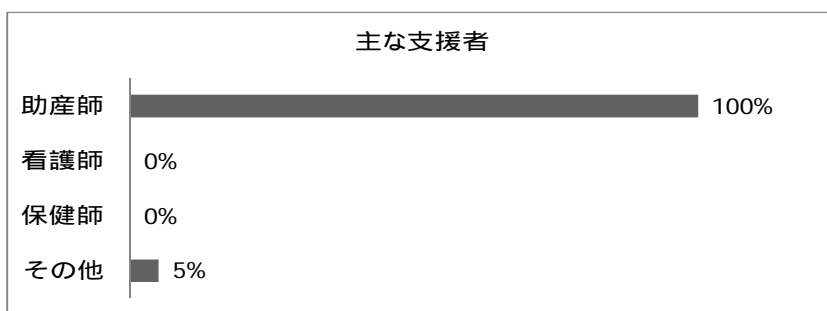
	回答数
有	6 (31.6%)
無	13 (68.4%)
計	19



自治体 : 横浜市、川崎市、横須賀市 補助金額 : 3,000円 ~ 7,000円

(11) 主な支援実施者について (n = 19、複数回答)

	回答数
助産師	19 (100.0%)
看護師	0 (0.0%)
保健師	0 (0.0%)
その他	1 (5.3%)
計	20



その他 : 心理カウンセラー

3 参加型（宿泊を伴わず、施設内において複数の妊婦を対象に実施）産前支援

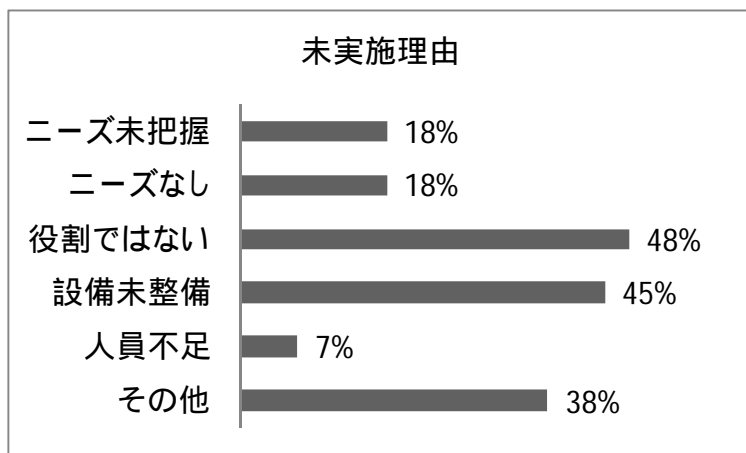
(1) 実施状況等

	回答数	実施	未実施		再掲 実施又は相談・考えている
			相談・考えている	考えていない	
横浜北部	12	7(58.3%)	4(33.3%)	1(8.3%)	11(91.6%)
横浜西部	8	4(50.0%)	0(0.0%)	4(50.0%)	4(50.0%)
横浜南部	10	3(30.0%)	5(50.0%)	2(20.0%)	8(80.0%)
川崎北部	5	2(40.0%)	0(0.0%)	2(40.0%)	2(40.0%)
川崎南部	7	4(57.1%)	0(0.0%)	3(42.9%)	4(57.1%)
相模原	6	2(33.3%)	2(33.3%)	2(33.3%)	4(66.6%)
横須賀・三浦	5	2(40.0%)	1(20.0%)	2(40.0%)	3(60.0%)
湘南東部	6	3(50.0%)	2(33.3%)	1(16.7%)	5(83.3%)
湘南西部	3	0(0.0%)	2(66.7%)	1(33.3%)	2(66.7%)
県央	3	1(33.3%)	2(66.7%)	0(0.0%)	3(100.0%)
県西	4	1(25.0%)	0(0.0%)	2(50.0%)	1(25.0%)
計	69	29	18	20	47

無回答各1あり

(2) 実施していない理由（n = 38、複数回答）

項目	回答数
ニーズが把握できていない	7(17.9%)
ニーズがない	7(17.9%)
自施設の役割ではない	14(48.3%)
設備面が整わない	13(44.8%)
人員不足	2(6.9%)
その他	11(37.9%)
計	54



社会的に周知されていない。

自施設がなく、訪問対応のみ。

助産師が高齢のため、対応できない。

(3) 今後の実施について、「考えていない」「相談があれば考える」と回答した施設が、実施条件と考えること。

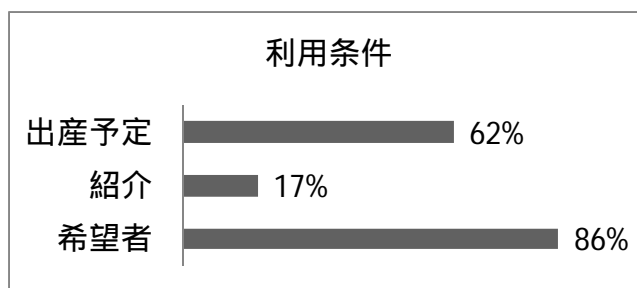
- ・出張専門なので、施設から依頼があればその施設に出向いて支援する。
- ・施設が借りられる等、準備ができれば。
- ・妊婦さんの目的が合っていれば。
- ・個人的に会場を借りて設定しても集客困難。公的機関の名前があるだけで集まり方に差

が出る。

- ・時間・スペース・コスト面で現在の仕事の状況に調整ができれば。
- ・複数人からの要望があれば実施可能。

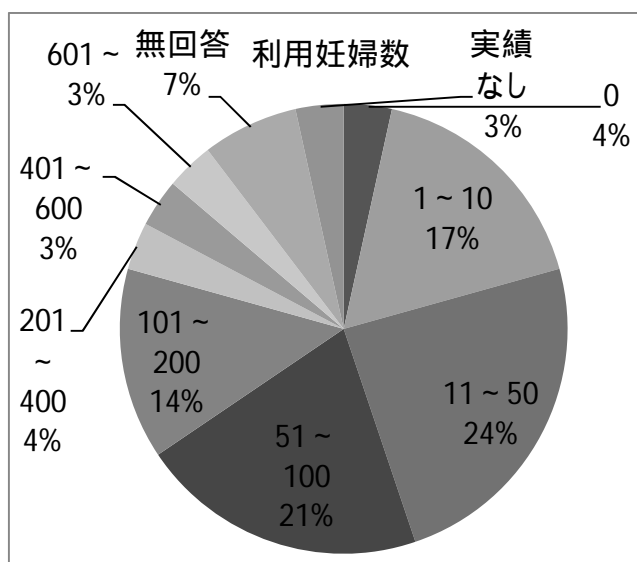
(4) 実施施設の利用条件について (n = 29、複数回答)

	回答数
自施設で出産予定	18 (62.1%)
出産他施設で、 出産施設から紹介がある	5 (17.2%)
出産他施設で、 利用を希望	25 (86.2%)
計	48



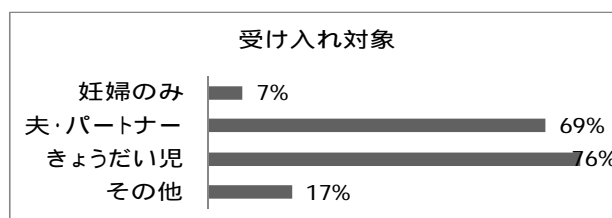
(5) 実施施設の平成26年4月～平成27年3月の利用妊婦数 (n = 29)

	回答数
0	1 (3.4%)
1～10	5 (17.2%)
11～50	7 (24.1%)
51～100	6 (20.7%)
101～200	4 (13.8%)
201～400	1 (3.4%)
401～600	1 (3.4%)
601～	1 (3.4%)
無回答	2 (6.9%)
設問以降の開設 のため実績なし	1 (3.4%)
計	29



(6) 妊婦と一緒に受け入れている対象者について (n = 29、複数回答)

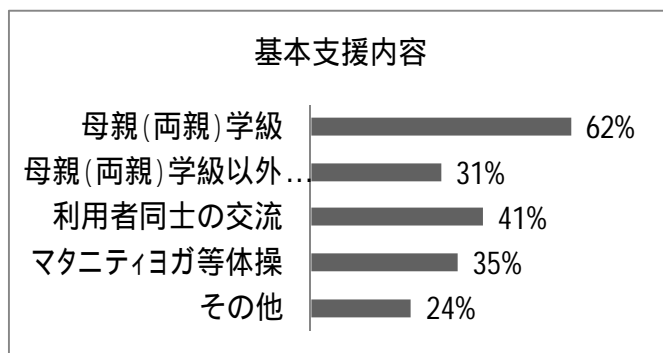
	回答数
なし (妊婦のみ)	2 (6.9%)
夫 (パートナー含む)	20 (69.0%)
きょうだい児	22 (75.9%)
その他	5 (17.2%)
計	49



その他：妊婦の実父母、義父母

(7) 実施している基本支援内容 (n = 29、複数回答)

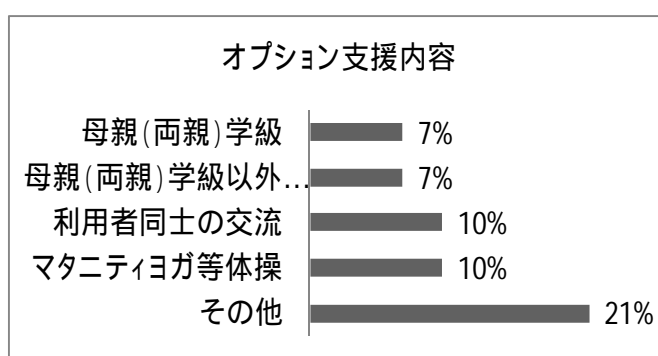
	回答数
母親 (両親) 学級	18 (62.1%)
上記以外の講話	9 (31.0%)
利用者同士の交流	12 (41.4%)
マタニティヨガ等体操	10 (34.5%)
その他	7 (24.1%)
計	56



その他：各種教室 (料理、お灸、沐浴、整体)

(8) 実施しているオプション支援内容 (n = 29、複数回答)

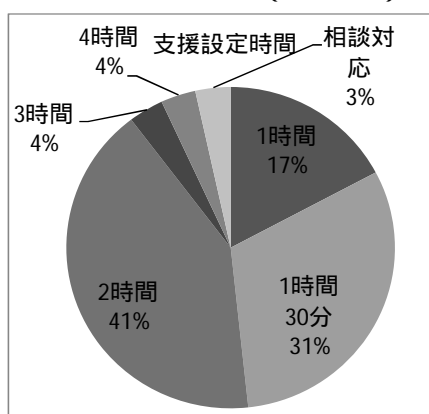
	回答数
母親 (両親) 学級	2 (6.9%)
上記以外の講話	2 (6.9%)
利用者同士の交流	3 (10.3%)
マタニティヨガ等体操	3 (10.3%)
その他	6 (20.7%)
計	16



その他：ベビーマッサージ、マタニティビクス、リラクゼーション

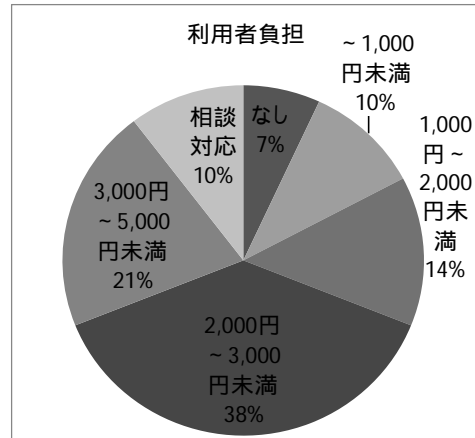
(9) 1回の基本支援を行うために予め設定した時間 (n = 29)

	回答数
1時間	5 (17.2%)
1時間30分	9 (31.0%)
2時間	12 (41.4%)
3時間	1 (3.4%)
4時間	1 (3.4%)
相談対応	1 (3.4%)
計	29



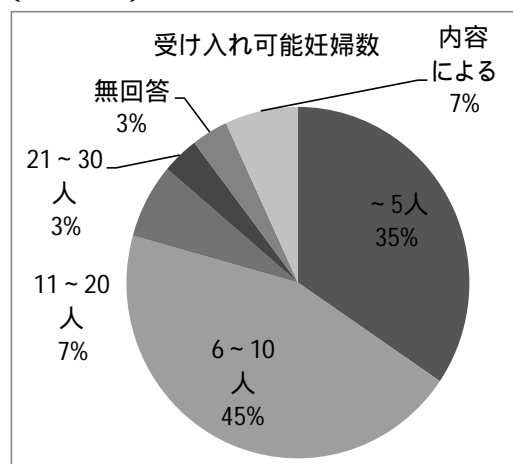
(10) 1回の基本支援を行うために予め設定した利用者負担額 (n = 29)

	回答数
自己負担なし	2 (6.9%)
~ 1,000円未満	3 (10.3%)
1,000円 ~ 2,000円未満	4 (13.8%)
2,000円 ~ 3,000円未満	11 (37.9%)
3,000円 ~ 5,000円	6 (20.7%)
相談対応	3 (10.3%)
計	29



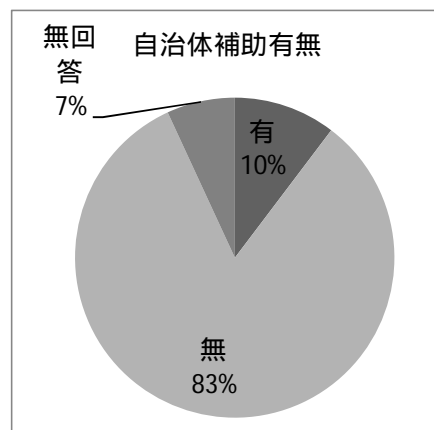
(11) 1回の受け入れ可能妊婦数 (n = 29)

	回答数
~ 5人	10 (34.5%)
6 ~ 10人	13 (44.8%)
11 ~ 20人	2 (6.9%)
21 ~ 30人	1 (3.4%)
無回答	1 (3.4%)
内容による	2 (6.9%)
計	29



(12) 利用者に対する自治体の補助の有無 (n = 29)

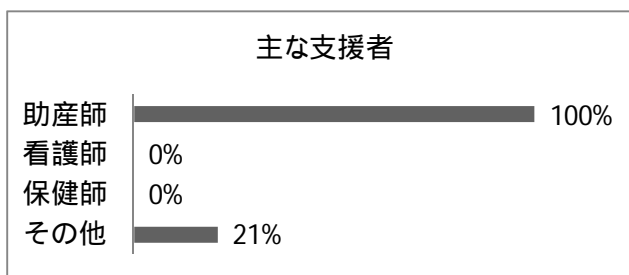
	回答数
有	3 (10.3%)
無	24 (82.8%)
無回答	2 (6.9%)
計	29



自治体：横浜市、川崎市、横須賀市 補助金額：3,500円 ~ 4,700円

(13) 主な支援実施者について (n = 29、複数回答)

	回答数
助産師	29 (100.0%)
看護師	0 (0.0%)
保健師	0 (0.0%)
その他	6 (20.7%)
計	35



その他：調理担当者、鍼灸師、ヨガ等インストラクター、保育士

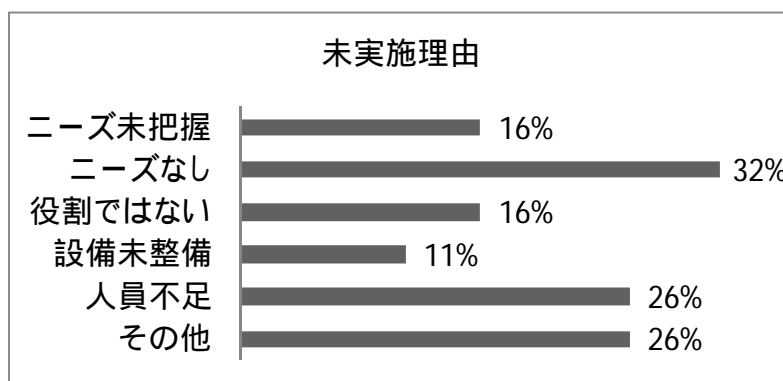
4 アウトリーチ型（母子の自宅において実施）産後支援

(1) 実施状況等

	回答数	実施	未実施		再掲 実施又は相談・考えている
			相談・考えている	考えていない	
横浜北部	12	8(66.7%)	2(16.7%)	2(16.7%)	10(83.4%)
横浜西部	8	6(75.0%)	0(0.0%)	2(25.0%)	6(75.0%)
横浜南部	10	7(70.0%)	3(30.0%)	0(0.0%)	10(100.0%)
川崎北部	5	4(80.0%)	0(0.0%)	1(20.0%)	4(80.0%)
川崎南部	7	5(71.4%)	0(0.0%)	2(28.6%)	5(71.4%)
相模原	6	5(83.3%)	0(0.0%)	1(16.7%)	5(83.3%)
横須賀・三浦	5	4(80.0%)	1(20.0%)	0(0.0%)	5(100.0%)
湘南東部	6	5(83.3%)	1(16.7%)	0(0.0%)	6(100.0%)
湘南西部	3	2(66.7%)	0(0.0%)	1(33.3%)	2(66.7%)
県央	3	1(33.3%)	0(0.0%)	2(66.7%)	1(33.3%)
県西	4	3(75.0%)	1(25.0%)	0(0.0%)	4(100.0%)
計	69	50	8	11	58

(2) 実施していない理由（n = 19、複数回答）

項目	回答数
ニーズが把握できていない	3(15.8%)
ニーズがない	6(31.6%)
自施設の役割ではない	3(15.8%)
設備面が整わない	2(10.5%)
人員不足	5(26.3%)
その他	5(26.3%)
計	24



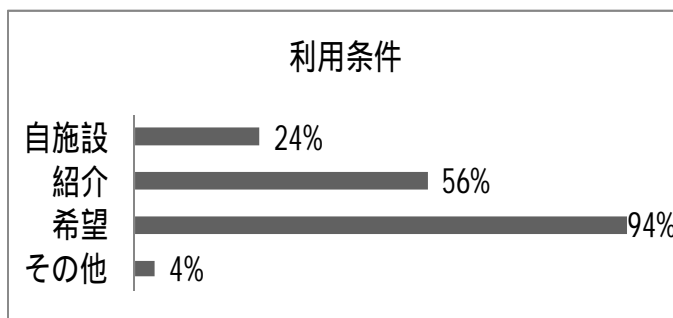
その他：産後ケア（宿泊型）で手がまわらない。
来所者対応で精一杯。
助産師が高齢のため、対応できない。

(3) 今後の実施について、「考えていない」「相談があれば考える」と回答した施設が、実施条件と考えること。

- ・紹介があれば出向くことができる。
- ・時間的に余裕があれば可能。
- ・本人の希望があれば。

(4) 実施施設の利用条件について (n = 50、複数回答)

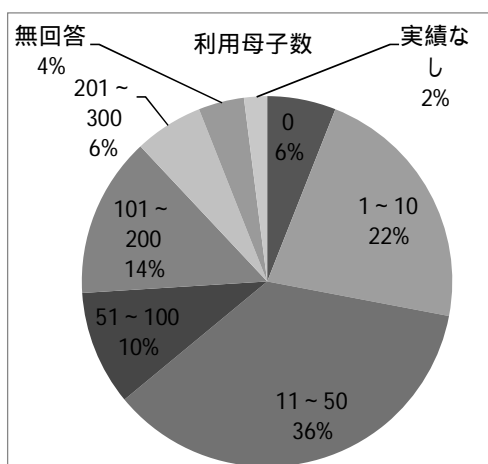
	回答数
自施設で出産	12 (24.0%)
出産他施設で、出産施設から紹介がある	28 (56.0%)
出産他施設で、利用を希望	47 (94.0%)
その他	2 (4.0%)
計	89



その他：自治体事業からの紹介、口コミ

(5) 実施施設の平成26年4月～平成27年3月の利用母子数 (n = 50)

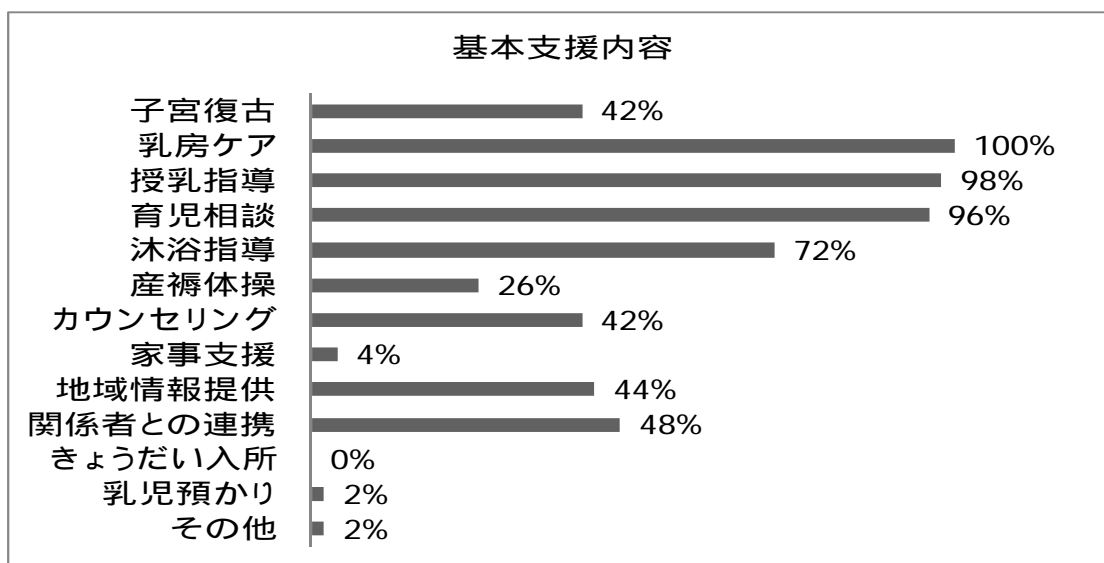
	回答数
0	3 (6.0%)
1～10	11 (22.0%)
11～50	18 (36.0%)
51～100	5 (10.0%)
101～200	7 (14.0%)
201～300	3 (6.0%)
無回答	2 (4.0%)
設問以降の開設のため実績なし	1 (2.0%)
計	50



(6) 産後の母に対して実施している基本支援内容 (n = 50、複数回答)

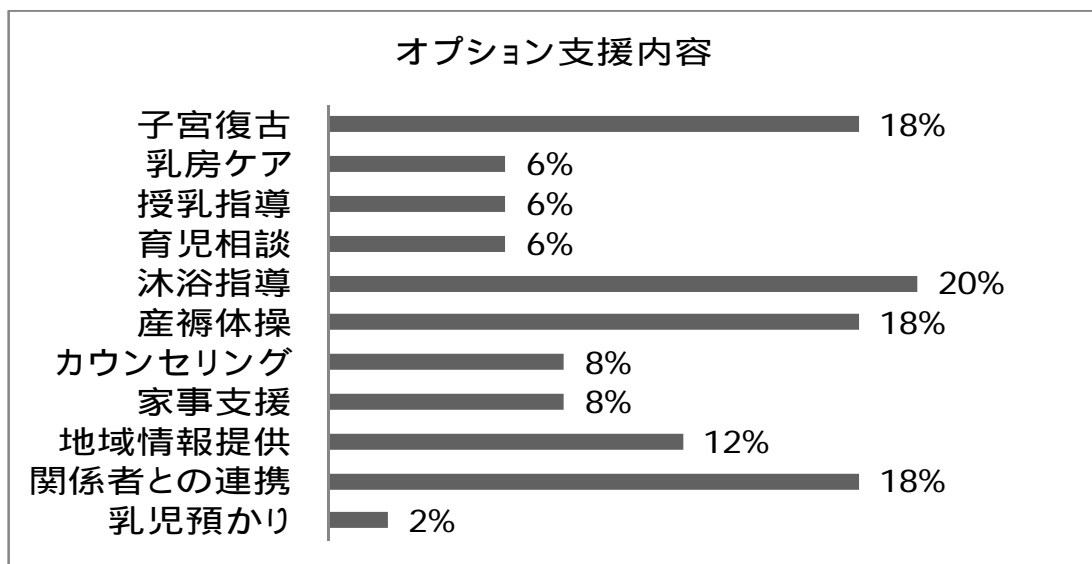
	回答数
子宮復古確認	21 (42.0%)
乳房ケア・マッサージ	50 (100.0%)
授乳指導・アドバイス	49 (98.0%)
育児相談・助言	48 (96.0%)
沐浴指導	36 (72.0%)
産褥体操	13 (26.0%)
カウンセリング	21 (42.0%)
食事・洗濯等家事支援	2 (4.0%)
産後ヘルパー制度等の地域情報の提供	22 (44.0%)
保健センターや医療機関との連携	24 (48.0%)
きょうだいの入所・預かり	0 (0.0%)
母親の休息のための乳児預かり	1 (2.0%)
その他	1 (2.0%)
計	288

その他：産後ヨガ、整体、マッサージ



(7) 産後の母に対して実施しているオプション支援内容 (n = 50、複数回答)

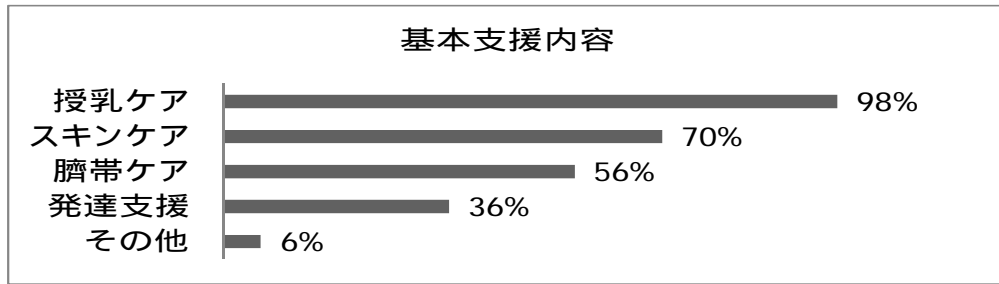
	回答数
子宮復古確認	9 (18.0%)
乳房ケア・マッサージ	3 (6.0%)
授乳指導・アドバイス	3 (6.0%)
育児相談・助言	3 (6.0%)
沐浴指導	10 (20.0%)
産褥体操	9 (18.0%)
カウンセリング	4 (8.0%)
食事・洗濯等家事支援	4 (8.0%)
産後ヘルパー制度等の地域情報の提供	6 (12.0%)
保健センターや医療機関との連携	9 (18.0%)
母親の休息のための乳児預かり	1 (2.0%)
計	61



(8) 乳児に対して実施している基本支援内容 (n = 50、複数回答)

	回答数
授乳ケアと発育測定等の栄養評価	49 (98.0%)
スキンケア・沐浴等清潔ケア	35 (70.0%)
臍帯ケア	28 (56.0%)
ベビーマッサージ等の発達支援	18 (36.0%)
その他	3 (6.0%)
計	133

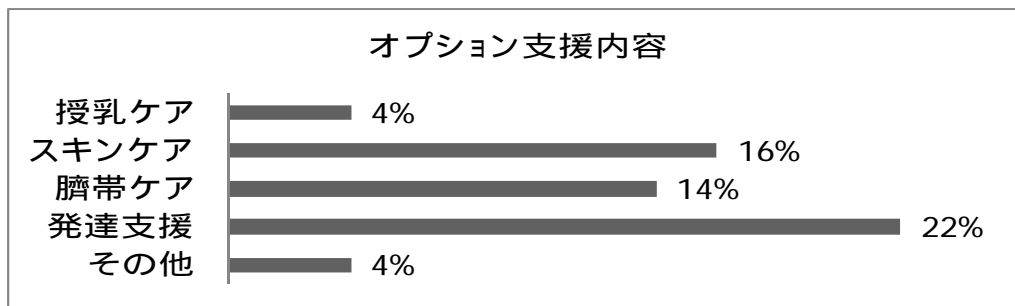
その他：離乳食相談、子どもの心身の発達に合わせた育児法、親力に対する助言



(9) 乳児に対して実施しているオプション支援内容 (n = 50、複数回答)

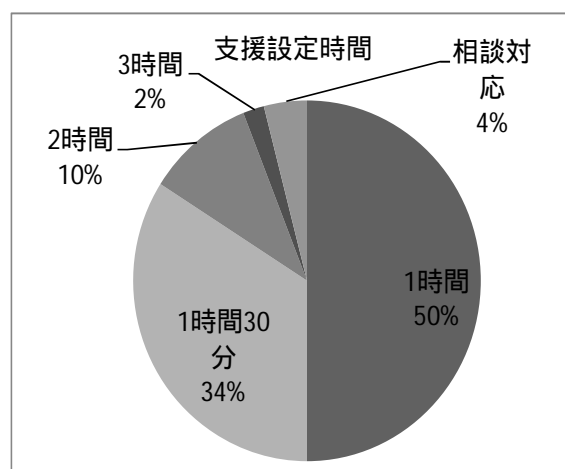
	回答数
授乳ケアと発育測定等の栄養評価	2 (4.0%)
スキンケア・沐浴等清潔ケア	8 (16.0%)
臍帯ケア	7 (14.0%)
ベビーマッサージ等の発達支援	11 (22.0%)
その他	2 (4.0%)
計	30

その他：生活環境への助言、男の子の泌尿器に関する相談、月齢別の遊び方・タッチング、絵本紹介



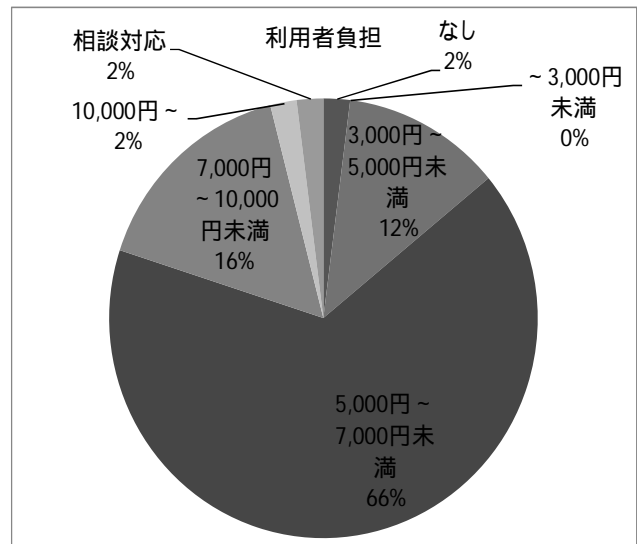
(10) 1回の基本支援を行うために予め設定した時間 (n = 50)

	回答数
1時間	25 (50.0%)
1時間30分	17 (34.0%)
2時間	5 (10.0%)
3時間	1 (2.0%)
相談対応	2 (4.0%)
計	50



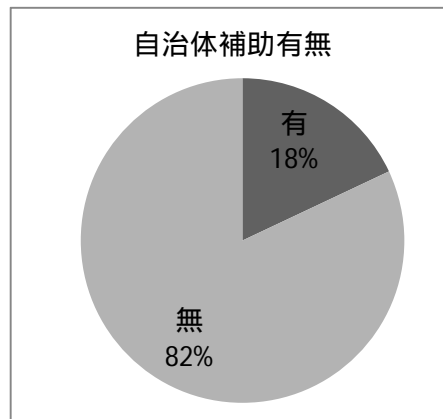
(11) 1回の基本支援を行うために予め設定した利用者負担額 (n = 50)

	回答数
自己負担なし	1 (2.0%)
~ 3,000円未満	0 (0.0%)
3,000円 ~ 5,000円未満	6 (12.0%)
5,000円 ~ 7,000円未満	33 (66.0%)
7,000円 ~ 10,000円未満	8 (16.0%)
10,000円 ~	1 (2.0%)
相談対応	1 (2.0%)
計	50



(12) 利用者に対する自治体の補助の有無 (n = 50)

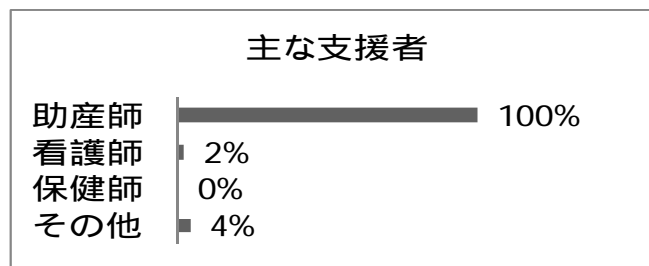
	回答数
有	9 (18.0%)
無	41 (82.0%)
計	50



自治体 : 横浜市、川崎市 補助金額 : 2,000円 ~ 5,000円

(13) 主な支援実施者について (n = 50、複数回答)

	回答数
助産師	50 (100.0%)
看護師	1 (2.0%)
保健師	0 (0.0%)
その他	2 (4.0%)
計	53



その他 : ヘルパー

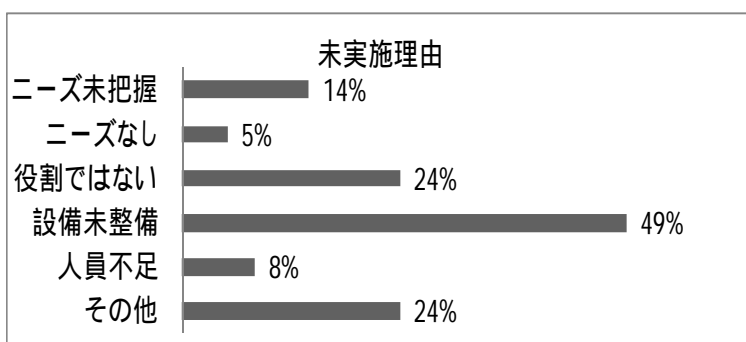
5 デイサービス型（宿泊を伴わず、施設内において複数の母子を対象に実施）産後支援

(1) 実施状況等

	回答数	実施	未実施		再掲 実施又は相談・考えている
			相談・考えている	考えていない	
横浜北部	12	6(50.0%)	2(16.7%)	4(33.3%)	8(66.7%)
横浜西部	8	4(50.0%)	0(0.0%)	4(50.0%)	4(50.0%)
横浜南部	10	3(30.0%)	5(50.0%)	2(20.0%)	8(80.0%)
川崎北部	5	2(40.0%)	1(20.0%)	2(40.0%)	3(60.0%)
川崎南部	7	2(28.6%)	1(14.3%)	4(57.1%)	3(42.9%)
相模原	6	5(83.3%)	1(16.7%)	0(0.0%)	6(100.0%)
横須賀・三浦	5	3(60.0%)	2(40.0%)	0(0.0%)	5(100.0%)
湘南東部	6	3(50.0%)	2(33.3%)	1(16.7%)	5(83.3%)
湘南西部	3	2(66.7%)	0(0.0%)	1(33.3%)	2(66.7%)
県央	3	0(0.0%)	1(33.3%)	2(66.7%)	1(33.3%)
県西	4	2(50.0%)	0(0.0%)	2(50.0%)	2(50.0%)
計	69	32	15	22	47

(2) 実施していない理由（n = 37、複数回答）

項目	回答数
ニーズが把握できていない	5(13.5%)
ニーズがない	21(5.4%)
自施設の役割ではない	9(24.3%)
設備面が整わない	18(48.6%)
人員不足	3(8.1%)
その他	9(24.3%)
計	65



市町村の補助金対象事業ではないため。

自施設がなく、訪問対応のみ。

助産師が高齢のため、対応できない

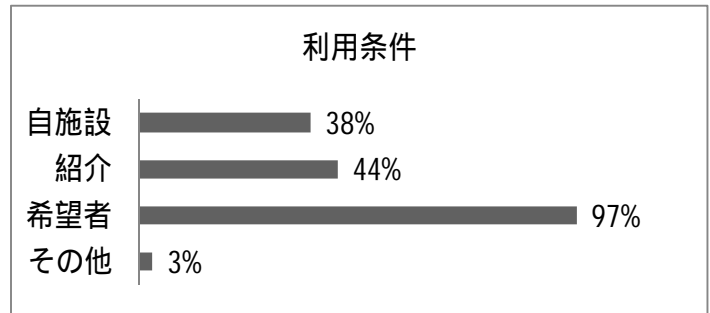
(3) 今後の実施について、「考えていない」「相談があれば考える」と回答した施設が、実施条件と考えること。

- ・人的パワー・施設・公的援助（母親へのクーポンやその他援助）があれば。
- ・複数の部屋がある施設を借りられる資金があること。
- ・市町村から金銭面の助成があれば。
- ・施設及び管理方法の熟知などの条件が整うこと。
- ・部屋の確保・食事などの問題がクリアできれば。

・現在はほぼボランティア状態だが、市町村の育児支援があればできる。

(4) 実施施設の利用条件について (n = 32、複数回答)

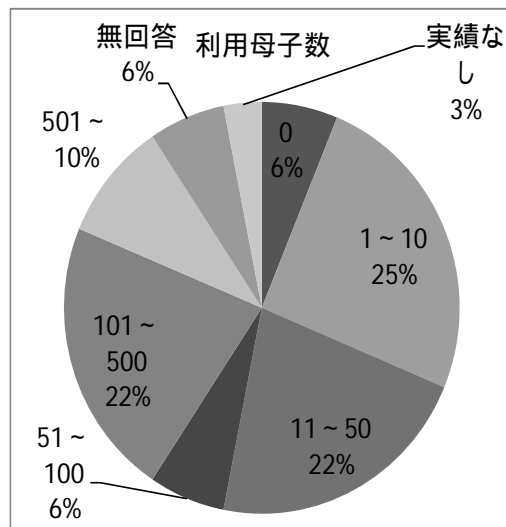
	回答数
自施設で出産	12 (37.5%)
出産他施設で、出産施設から紹介がある	14 (43.8%)
出産他施設で、利用を希望	31 (96.9%)
その他	1 (3.1%)
計	58



その他：来院可能性者は全て

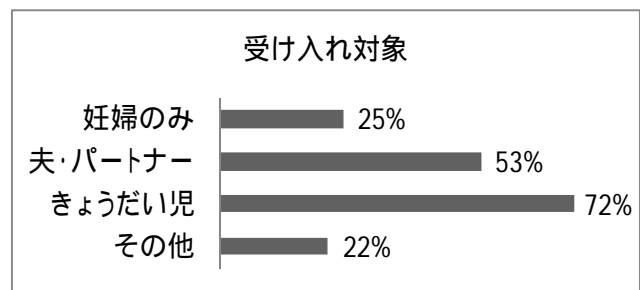
(5) 実施施設の平成26年4月～平成27年3月の利用母子数 (n = 32)

	回答数
0	2 (6.3%)
1～10	8 (25.0%)
11～50	7 (21.9%)
51～100	2 (6.3%)
101～500	7 (21.9%)
501～	3 (9.4%)
無回答	2 (6.3%)
設問以降の開設のため実績なし	1 (3.1%)
計	32



(6) 母子と一緒に受け入れている対象者について (n = 32、複数回答)

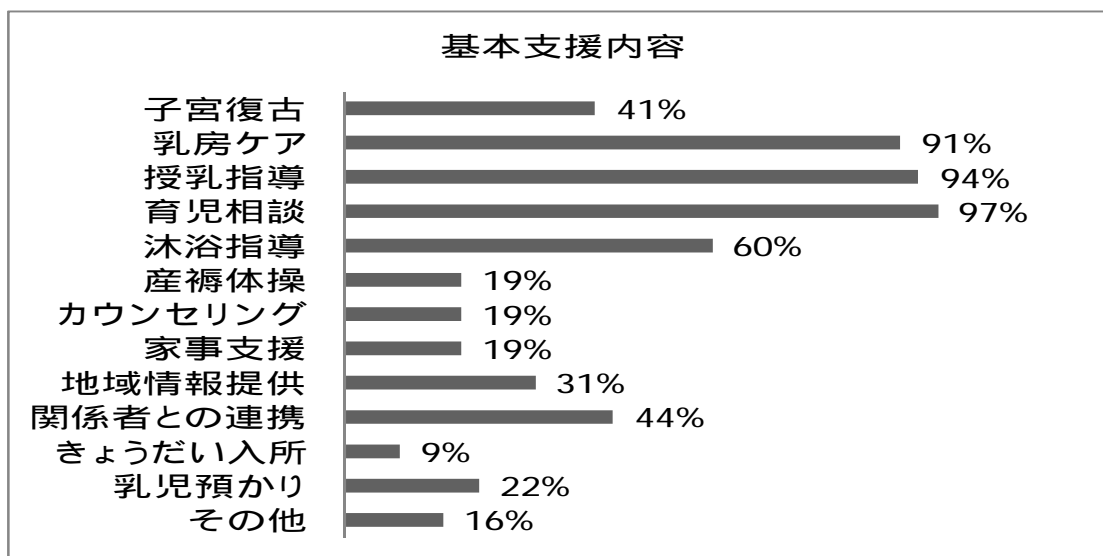
	回答数
なし (妊婦のみ)	8 (25.0%)
夫 (パートナー含む)	17 (53.1%)
きょうだい児	23 (71.9%)
なし	7 (21.9%)
計	55



(7) 産後の母に対して実施している基本支援内容 (n = 32、複数回答)

	回答数
子宮復古確認	13 (40.6%)
乳房ケア・マッサージ	29 (90.6%)
授乳指導・アドバイス	30 (93.8%)
育児相談・助言	31 (96.9%)
沐浴指導	19 (59.4%)
産褥体操	6 (18.8%)
カウンセリング	6 (18.8%)
食事・洗濯等家事支援	6 (18.8%)
産後ヘルパー制度等の地域情報の提供	10 (31.3%)
保健センターや医療機関との連携	14 (43.8%)
きょうだいの入所・預かり	3 (9.4%)
母親の休息のための乳児預かり	7 (21.9%)
その他	5 (15.6%)
計	179

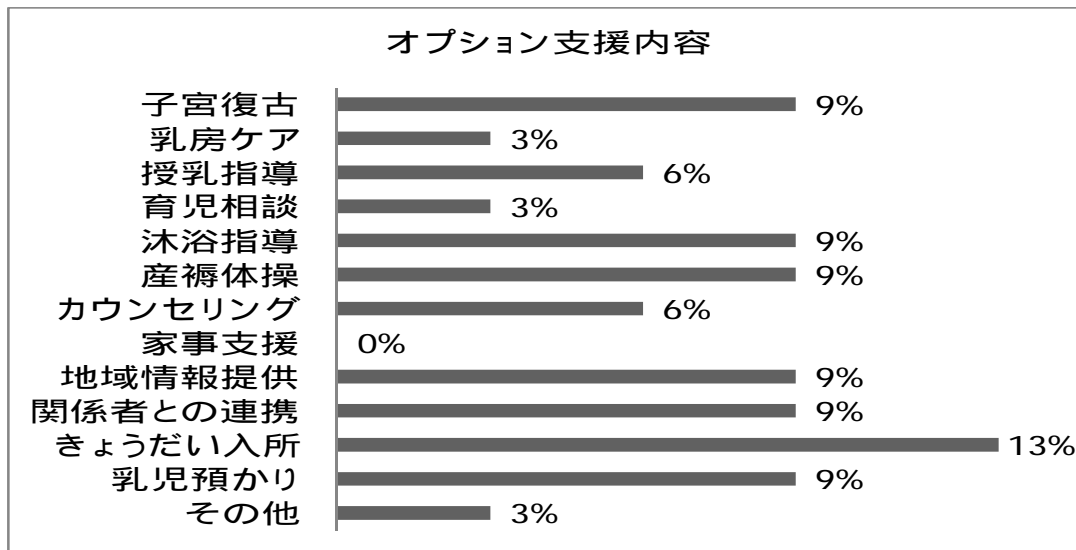
その他：利用者同士の交流会、育児教室、ヨガ、ベビーマッサージ、エクササイズ、整体



(8) 産後の母に対して実施しているオプション支援内容 (n = 32、複数回答)

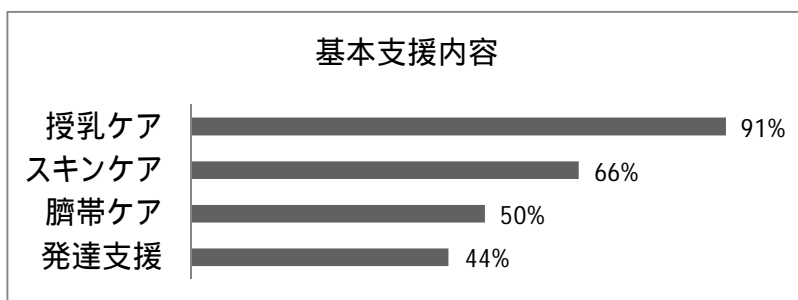
	回答数
子宮復古確認	3 (9.4%)
乳房ケア・マッサージ	1 (3.1%)
授乳指導・アドバイス	2 (6.3%)
育児相談・助言	1 (3.1%)
沐浴指導	3 (9.4%)
産褥体操	3 (9.4%)
カウンセリング	2 (6.3%)
食事・洗濯等家事支援	0 (0.0%)
産後ヘルパー制度等の地域情報の提供	3 (9.4%)
保健センターや医療機関との連携	3 (9.4%)
きょうだいの入所・預かり	4 (12.5%)
母親の休息のための乳児預かり	3 (9.4%)
その他	1 (3.1%)
計	29

その他：リラクゼーション、ヨガ、マッサージ、様々なグループ活動



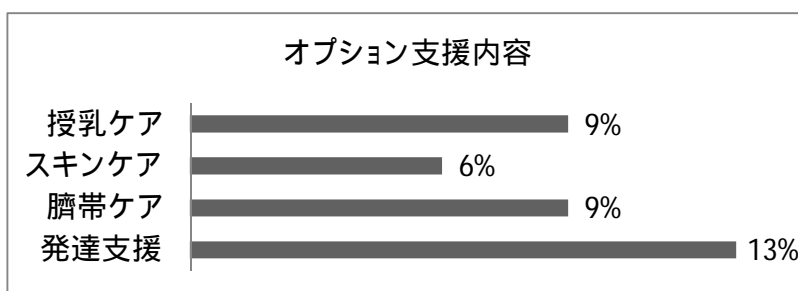
(9) 乳児に対して実施している基本支援内容 (n = 32、複数回答)

	回答数
授乳ケアと発育測定等の栄養評価	29 (90.6%)
スキンケア・沐浴等清潔ケア	21 (65.6%)
臍帯ケア	16 (50.0%)
ベビーマッサージ等の発達支援	14 (43.8%)
計	80



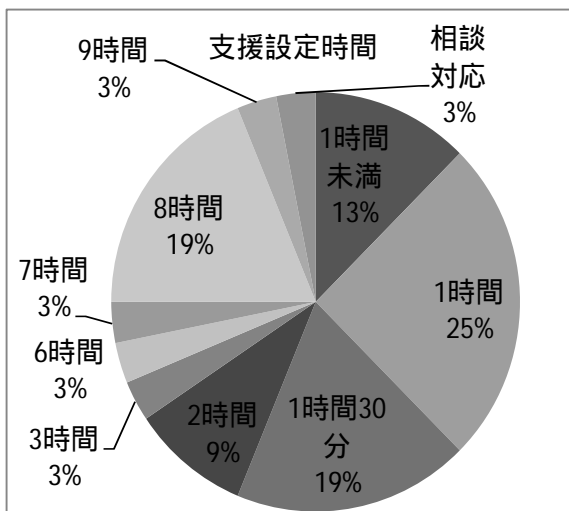
(10) 乳児に対して実施しているオプション支援内容 (n = 32、複数回答)

	回答数
授乳ケアと発育測定等の栄養評価	3 (9.4%)
スキンケア・沐浴等清潔ケア	2 (6.3%)
臍帯ケア	3 (9.4%)
ベビーマッサージ等の発達支援	4 (12.5%)
計	12



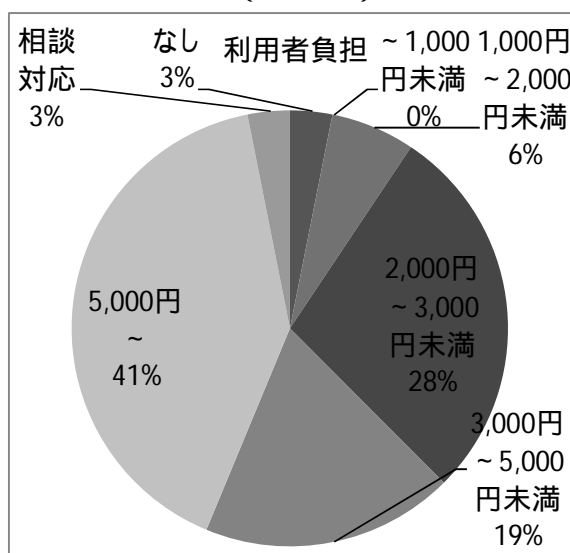
(11) 1回の基本支援を行うために予め設定した時間 (n = 32)

	回答数
1時間未満	4 (12.5%)
1時間	8 (25.0%)
1時間30分	6 (18.8%)
2時間	3 (9.4%)
3時間	1 (3.1%)
6時間	1 (3.1%)
7時間	1 (3.1%)
8時間	6 (18.8%)
9時間	1 (3.1%)
相談対応	1 (3.1%)
計	32



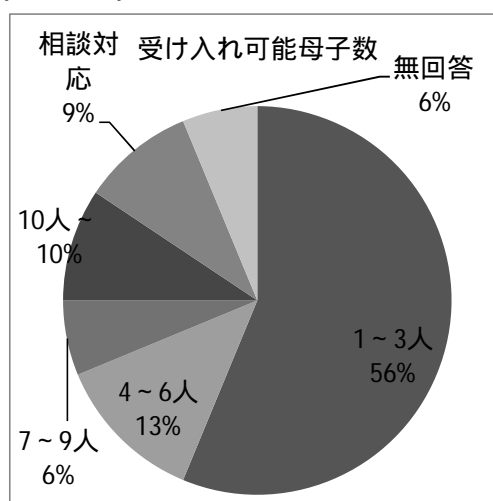
(12) 1回の基本支援を行うために予め設定した利用者負担額 (n = 32)

	回答数
自己負担なし	1 (3.1%)
~ 1,000円未満	0 (0.0%)
1,000円 ~ 2,000円未満	2 (6.3%)
2,000円 ~ 3,000円未満	9 (28.1%)
3,000円 ~ 5,000円未満	6 (18.8%)
5,000円 ~	13 (40.6%)
相談対応	1 (3.1%)
計	32



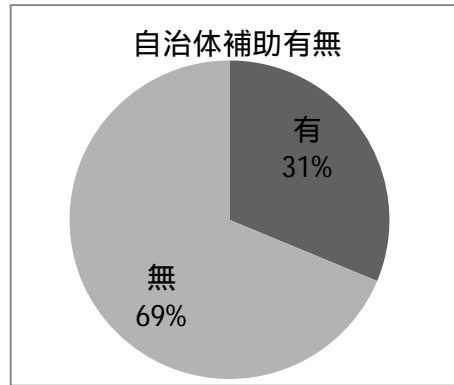
(13) 1回の受け入れ可能母子数 (n = 32)

	回答数
1~3人	18 (56.3%)
4~6人	4 (12.5%)
7~9人	2 (6.3%)
10人~	3 (9.4%)
相談対応	3 (9.4%)
無回答	2 (6.3%)
計	32



(14) 利用者に対する自治体の補助の有無 (n = 32)

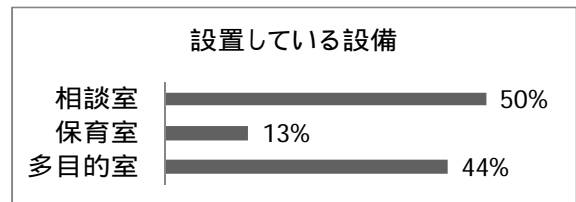
	回答数
有	10 (31.3%)
無	22 (68.8%)
計	32



自治体 : 横浜市、川崎市、横須賀市 補助金額 : 7,000円 ~ 18,000円

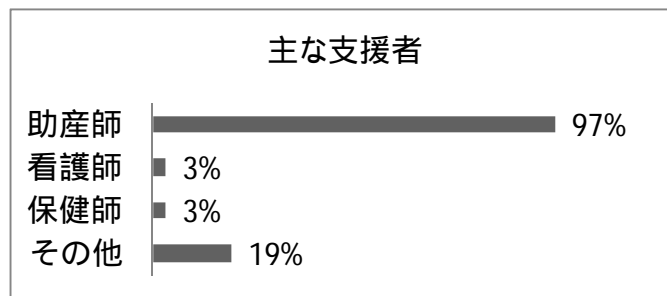
(15) 支援実施のため設置している設備 (n = 32、複数回答)

	回答数
相談 (カウンセリング) 室	16 (50.0%)
乳児保育室	4 (12.5%)
体操等が行える多目的室	14 (43.8%)
計	34



(16) 主な支援実施者について (n = 32、複数回答)

	回答数
助産師	31 (96.9%)
看護師	1 (3.1%)
保健師	1 (3.1%)
その他	6 (18.8%)
計	39



その他 : マタニティインストラクター、チャイルドボディセラピスト、アロマセラピスト、ヨガインストラクター、臨床心理士

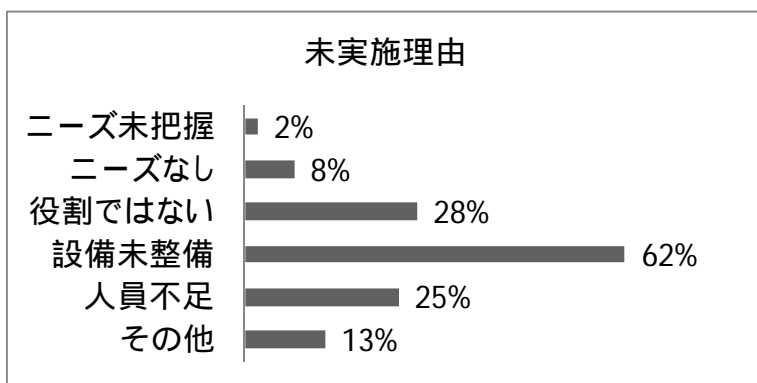
6 宿泊型（1泊以上の宿泊を伴い実施）産後支援

(1) 実施状況等

	回答数	実施	未実施		再掲 実施又は相談・考えている
			相談・考えている	考えていない	
横浜北部	12	4(33.3%)	3(25.0%)	5(41.7%)	7(58.3%)
横浜西部	8	1(12.5%)	0(0.0%)	7(87.5%)	1(12.5%)
横浜南部	10	2(20.0%)	1(10.0%)	7(70.0%)	3(30.0%)
川崎北部	5	1(20.0%)	0(0.0%)	4(80.0%)	1(20.0%)
川崎南部	7	3(42.9%)	0(0.0%)	4(57.1%)	3(42.9%)
相模原	6	0(0.0%)	2(33.3%)	4(66.7%)	2(33.3%)
横須賀・三浦	5	2(40.0%)	1(20.0%)	2(40.0%)	3(60.0%)
湘南東部	6	2(33.3%)	0(0.0%)	4(66.7%)	2(33.3%)
湘南西部	3	0(0.0%)	1(33.3%)	2(66.7%)	1(33.3%)
県央	3	0(0.0%)	0(0.0%)	3(100.0%)	0(0.0%)
県西	4	1(25.0%)	0(0.0%)	3(75.0%)	1(25.0%)
計	69	16	8	45	24

(2) 実施していない理由（n = 53、複数回答）

項目	回答数
ニーズが把握できていない	1(1.9%)
ニーズがない	4(7.5%)
自施設の役割ではない	15(28.3%)
設備面が整わない	33(62.3%)
人員不足	13(24.5%)
その他	7(13.2%)
計	73



自施設がない。
24時間対応ができない。
利用料金が高くなる。
行いたいけど時間・経済面で厳しい。

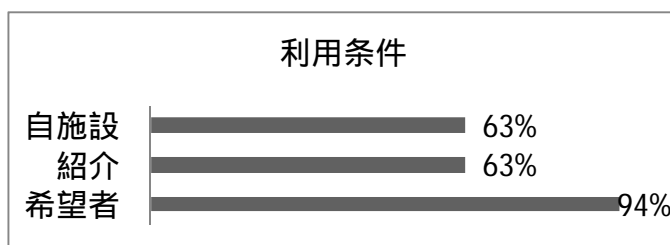
(3) 今後の実施について、「考えていない」「相談があれば考える」と回答した施設が、実施条件と考えること。

- ・人員確保、設備が整い、ニーズがあれば行えそう。
- ・法的に整い次第。
- ・宿泊施設があれば行える。
- ・現在の施設と人員では無理。支援者や団体があれば考えたい。

- ・（経済的・ライフワーク的に無理であるが、）他の所に出向き手伝うのは可。
- ・市町村との連携。
- ・利用料金が安くなる・施設の設備投資等、市町村の補助が必要。
- ・経営維持のための市町村等の助言。
- ・設備面での法改正（宿泊を伴う（病床を持つ）場合、分娩室を設けなければならない）。

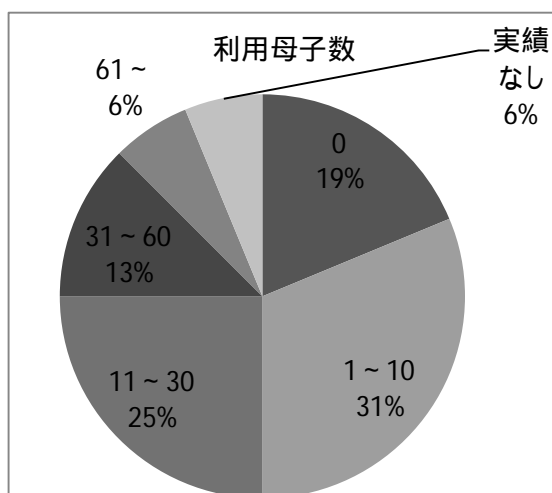
(4) 実施施設の利用条件について（n = 16、複数回答）

	回答数
自施設で出産	10 (62.5%)
出産他施設で、出産施設から紹介がある	10 (62.5%)
出産他施設で、利用を希望	15 (93.8%)
計	35



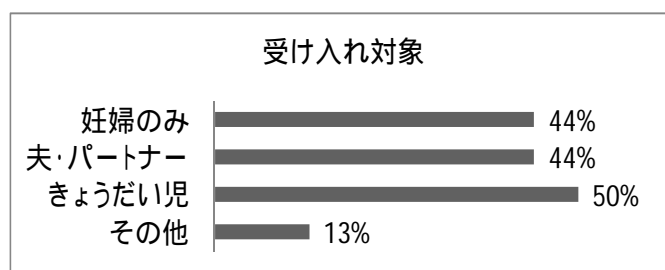
(5) 実施施設の平成26年4月～平成27年3月の利用母子数（n = 16）

	回答数
0	3 (18.8%)
1～10	5 (31.3%)
11～30	4 (25.0%)
31～60	2 (12.5%)
61～	1 (6.3%)
設問以降の開設のため実績なし	1 (6.3%)
計	16



(6) 母子と一緒に受け入れている対象者について（n = 16、複数回答）

	回答数
なし（妊婦のみ）	7 (43.8%)
夫（パートナー含む）	7 (43.8%)
きょうだい児	8 (50.0%)
その他	2 (12.5%)
計	24

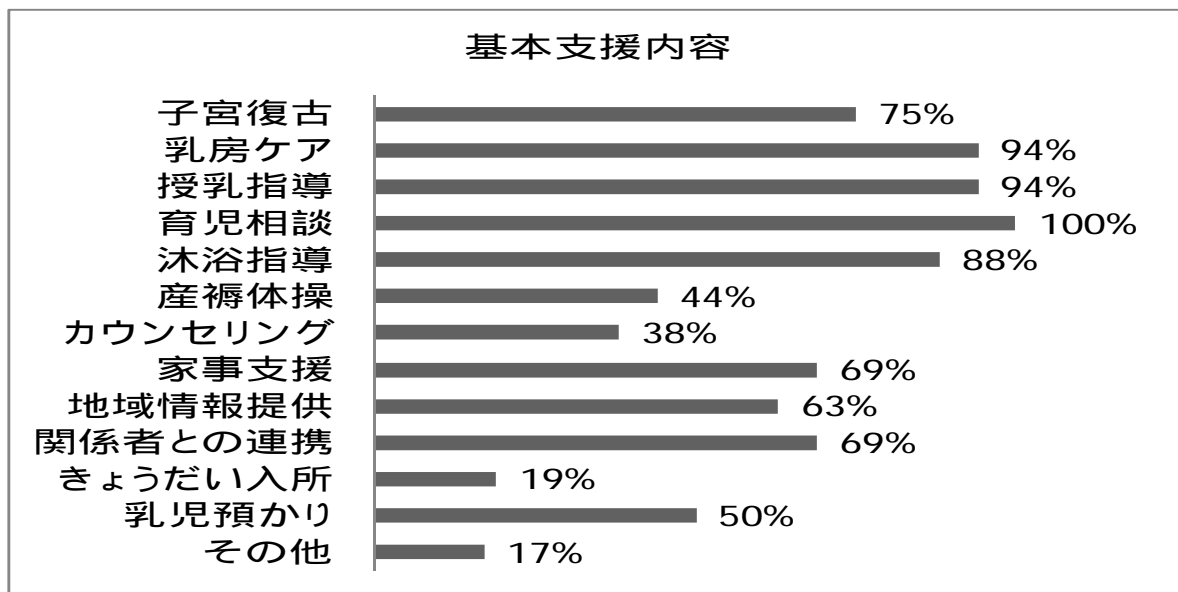


その他：母の実母、限度はあるが希望があれば家族全員

(7) 産後の母に対して実施している基本支援内容 (n = 16、複数回答)

	回答数
子宮復古確認	12 (75.0%)
乳房ケア・マッサージ	15 (93.8%)
授乳指導・アドバイス	15 (93.8%)
育児相談・助言	16 (100.0%)
沐浴指導	14 (87.5%)
産褥体操	7 (43.8%)
カウンセリング	6 (37.5%)
食事・洗濯等家事支援	11 (68.8%)
産後ヘルパー制度等の地域情報の提供	10 (62.5%)
保健センターや医療機関との連携	11 (68.8%)
きょうだいの入所・預かり	3 (18.8%)
母親の休息のための乳児預かり	8 (50.0%)
その他	1 (16.7%)
計	129

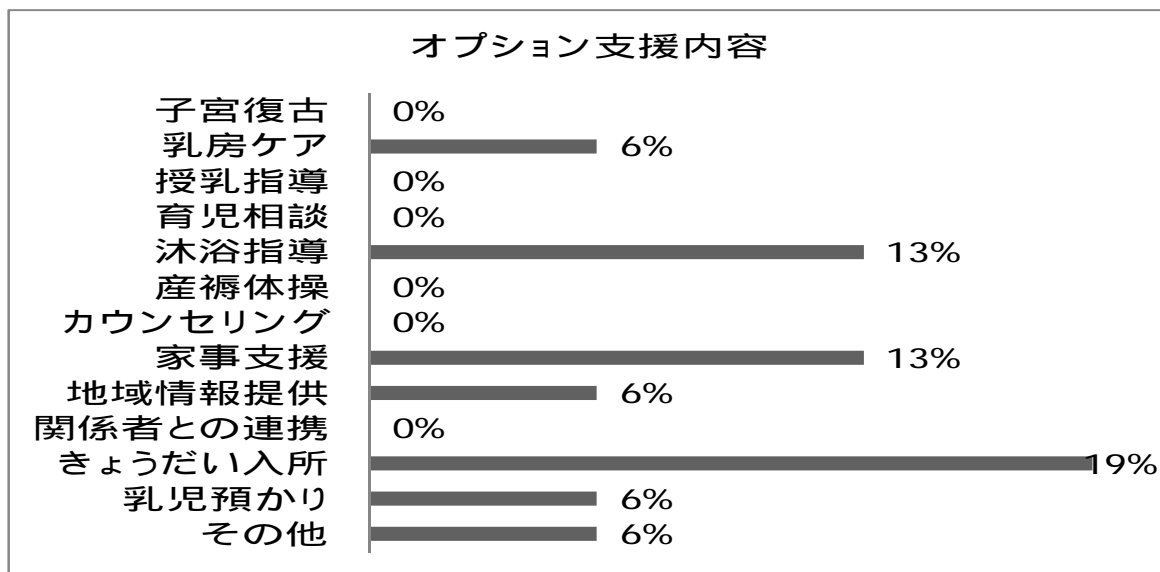
その他：母入浴



(8) 産後の母に対して実施しているオプション支援内容 (n = 16、複数回答)

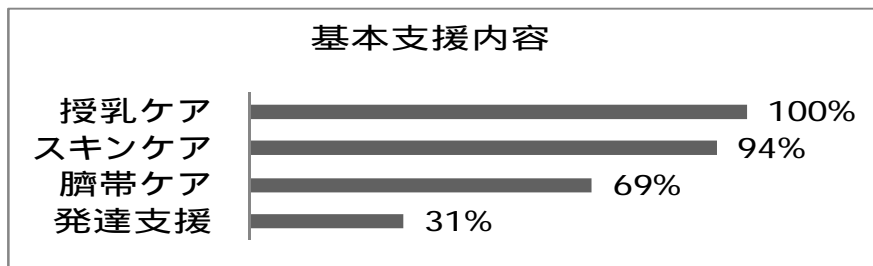
	回答数
子宮復古確認	0 (0.0%)
乳房ケア・マッサージ	1 (6.3%)
授乳指導・アドバイス	0 (0.0%)
育児相談・助言	0 (0.0%)
沐浴指導	2 (12.5%)
産褥体操	0 (0.0%)
カウンセリング	0 (0.0%)
食事・洗濯等家事支援	2 (12.5%)
産後ヘルパー制度等の地域情報の提供	1 (6.3%)
保健センターや医療機関との連携	0 (0.0%)
きょうだいの入所・預かり	3 (18.8%)
母親の休息のための乳児預かり	1 (6.3%)
その他	1 (6.3%)
計	11

その他：施設内講座の利用



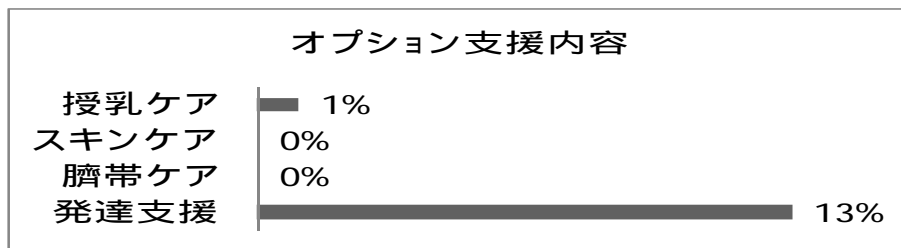
(9) 乳児に対して実施している基本支援内容 (n = 16、複数回答)

	回答数
授乳ケアと発育測定等の栄養評価	16 (100.0%)
スキンケア・沐浴等清潔ケア	15 (93.8%)
臍帯ケア	11 (68.8%)
ベビーマッサージ等の発達支援	5 (31.3%)
計	47



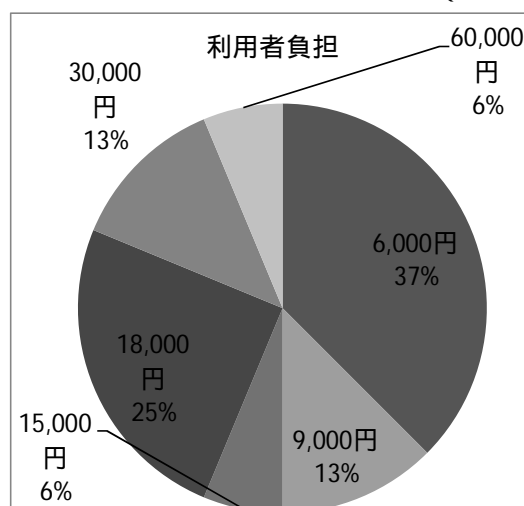
(10) 乳児に対して実施しているオプション支援内容 (n = 16、複数回答)

	回答数
授乳ケアと発育測定等の栄養評価	1 (6.3%)
スキンケア・沐浴等清潔ケア	0 (0.0%)
臍帯ケア	0 (0.0%)
ベビーマッサージ等の発達支援	2 (12.5%)
計	3



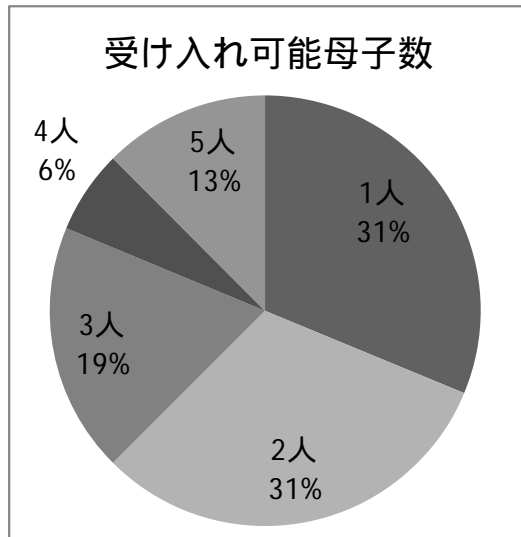
(11) 1回の基本支援を行うために予め設定した利用者負担額 (n = 16)

	回答数
6,000円	6 (37.5%)
9,000円	2 (12.5%)
15,000円	1 (6.3%)
18,000円	4 (25.0%)
30,000円	2 (12.5%)
60,000円	1 (6.3%)
計	16



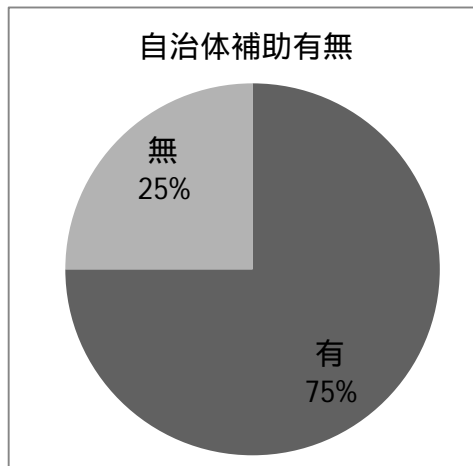
(12) 1回の受け入れ可能母子数 (n = 16)

	回答数
1人	5 (31.3%)
2人	5 (31.3%)
3人	3 (18.8%)
4人	1 (6.3%)
5人	2 (12.5%)
計	16



(13) 利用者に対する自治体の補助の有無 (n = 16)

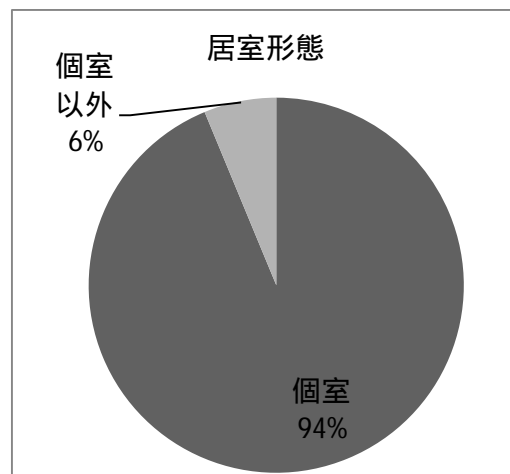
	回答数
有	12 (75.0%)
無	4 (25.0%)
計	16



自治体 : 横浜市、川崎市、横須賀市 補助金額 : 21,000円 ~ 54,000円

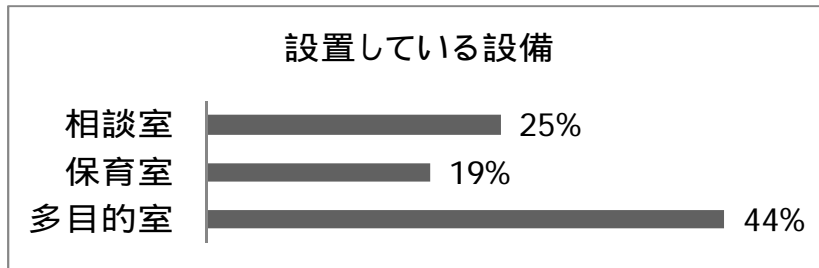
(14) 居室の形態について (n = 16)

	回答数
個室	15 (93.8%)
個室以外の空きベッド	1 (6.3%)
計	16



(15) 支援実施のため設置している設備 (n = 16、複数回答)

	回答数
相談 (カウンセリング) 室	4 (25.0%)
乳児保育室	3 (18.8%)
体操等が行える多目的室	7 (43.8%)
計	14

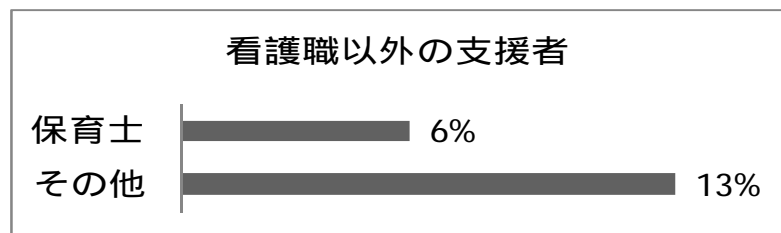


(16) 24時間帯体制で1名以上の助産師、看護師又は保健師の勤務について (n = 16)

	回答数
有	16 (100.0%)
無	0 (0.0%)
計	16

(17) 助産師、看護師、保健師以外の支援実施者について (n = 16、複数回答)

	回答数
保育士	2 (12.5%)
その他	1 (6.3%)
計	3



7 産前・産後支援について、提供するケアへの意見

カテゴリー	サブカテゴリー	内容（一部抜粋）
助産師の人材活用【12】	事前の情報提供【4】	産後について、必要かつ大切な情報を産前にこそ提供しておくこと、妊婦本人だけでなくサポート予定の方の認識を深めておくことが大切だと思う。
		里帰りや産後ある程度の期間を過ぎた褥婦さんに対して、地域の開業助産師の存在の情報が殆どない。
	行政との連携【6】	助産師は、いのちの話から婚前教育、妊娠・出産・子育て、更年期～と女性の一生に関わる支援技術・知識を心得ている。助産師たちの能力をもっと活用できることは、利用者にとっての利益と考える。
		行政での母子健康手帳交付時や出産後の施設から、ケアを提供できる助産師のリストを渡してもらえたらありがたい。
医療機関との連携【2】	妊産褥婦のニーズがあればやりたいと思っているが、個人での広報が不十分な面を感じている。行政の協力等があるといい。	
ケア提供のための人材育成【4】	医療機関との連携【2】	産前に関しては出産する医療機関で指導されていることも多く、医療機関と連携できる環境が必要。
	ケアの質の向上【2】	助産師の事例検討、交流会等に参加しやすい環境と情報が欲しい。
現状のケアの課題【12】	人材数増加【2】	助産師一人で24時間常駐は厳しい。せめて二人体制でないとコールがあった時に迅速な対応ができないので、人材確保と母子ケアの充実を図れる体制作りをしていきたいが資金繰りが大変。
	現制度への意見【6】	乳房マッサージ等は利用者自己負担のため、予防的に活用することが難しい方もおり、必要な方にケア提供しにくい状況を感じる。
		高齢者の訪問看護制度があるように、核家族が主の現代において、金銭面を含み支援があっても当然であり、高齢者のことがあまりにも先行しており不満である。
		法律はケア提供者を守ってくれるものである反面、しばられるものも多々ある。

カテゴリー	サブカテゴリー	内容（一部抜粋）
現状のケアの課題【12】 （前頁続き）	地域格差【3】	自治体により、利用できる人・料金・体制がかなり異なっている。ハイ/ローリスク等も住居のある場所により受入可否に大差がある。システムのあり方をもっと大きな視点で検討して欲しい。
	補助金の活用【1】	現在委託を受けている自治体は、補助金使用可能な条件があるため、使いたい人が使えない。利用希望がある時点でヘルプのサインと考えるが、補助額を少なくしてもよいので産後の母に使ってあげたい。
	その他【2】	<p>最近では退院も早く、各家族化や支援する周りの方も働いているケースが多い。また、インターネット等で情報があふれ、悩むお母さんが多く産後うつになる方も多い。産前・産後支援は今後必要だと考える。</p> <p>相談へくるほとんどの母たちが子育てへの不安・疲労があるので、話を聞いて受け止めて、元気を取り戻す支援が必要と実感している。出産についての振り返りはとても大切だと思う。前向きになるには気持ちの整理が必要と思う。</p>
ケア内容の工夫【4】	<p>利用する母子に対して画一的なケアを提供するのではなく、母子の月齢や発達・身体面・精神面に合わせて、休息や授乳練習・児の遊び等、ステップ毎に支援の内容や関わり方を考えてケアにあたるように心がけている。</p> <p>乳房ケアがきっかけだが、それだけでなく、授乳指導や育児相談・助言・児の体重増加の状態等もみる。それにより母の安心にもつながる。また、体重増加不良や黄疸等に早く気付くことができ、受診を勧めることもできる。</p>	

8 産前・産後支援を実施するにあたり、運営面の課題等

カテゴリー	サブカテゴリー	内容（一部抜粋）
金銭面の悩み【17】	経済的負担【7】	入院が複数いる場合は運営が成り立つが、ショートステイ等一人のみの入院となると必要経費がふくらみ、一泊6万円では採算が合わない。
		助産所は個人の自営業であり、多くの方に利用していただきたいと思い施設の拡大を計画しているが、自己負担では限界がある。
		行政の補助が出ているが、設定金額が安く、収益にはならない。
		母子両方ケアするため1件あたりの時間がかかり、利用者数が月により大きく異なることもあり、ビジネスとして十分な利益をあげにくい。
	利用者負担【5】	保険適用外であり、利用者の金銭的な負担が大きい。自己負担してでもケアを受けたいという方しかケアができない。
	アウトリーチではケア時間に移動時間がかかる。その分母の負担額が増える。	
	現在委託を受けている自治体の産後ケアの利用者負担が安すぎると感じる。誰でも利用できる条件で、もう少し負担額を上げてバランスのとれたものになるとよい。	
負担のバランス【2】	保健指導のみで開業しておりそれだけでは生活をしていけない。だが、ケアの値段を高くしてしまうと本当に必要な人にケアが届かないことが考えられる。利用者にも運営者にも支援が必要だと思う。	
その他【3】	利用者の料金負担が多いため、利用回数が少ない中で必要な情報提供やサービスの実施が必要となる。そのため定期的な参加の促しが難しい。	
運営管理【9】	活動形態【3】	出張専門の助産師は何らかの企業や団体の中で雇われていることも多く、時間的・金銭的問題でなかなか動きにくいこともある。
		個人経営だと所詮営利目的と言われてしまう。また、会場確保はいつも苦戦する。
	役割分担【2】	分娩との兼ね合いが難しいことがあり、他の人のお産で眠れなかったとか、面倒みてもらえなかったとの意見があった。本当は産後のみのサポート施設の方がよいのか？と思うことがある。

カテゴリー	サブカテゴリー	内容（一部抜粋）
運営管理【9】 （前頁続き）	施設形態【2】	宿泊型支援を提供するにあたり施設に関する法律がないため、旅館業とするか有床助産所とする必要がある。後者にする場合、嘱託医療機関との契約という高いハードルがあり大変困難となる。
	ベッドコントロール【2】	デイサービス型・宿泊型産後支援については、分娩が重ならず、入院室の空きがあることが前提となる。
その他	人材に関する こと【4】	個々で支援にあたっていると身体的にも精神的にもつらくなってしまふことがある。チームで母子を支援することで事例を共有し、ケアを共に考えサポートできる。
		若い専門家に対する知識の向上が必要。
	周知・情報提供【1】	広報不足を感じる。

9 産前・産後支援を実施するにあたり、人材確保に関する課題等

カテゴリー	サブカテゴリー	内容（一部抜粋）
従事者の雇用【6】	人件費確保【4】	マンパワーは絶対必要だが、自営業の50%以上が人件費として支払われることから、雇用が難しい。やる気のある医療者は周りにいるが、十分な給与保障ができないのがもどかしい。
		ボランティアではなく資格を持って仕事をしているので、プライドは持ち、生活のため収入を得ることは必要。
		委託を受けて支援を行っているが、日曜・祝日・祭日の時間外勤務が現状の自治体からの補助金では賄えない。院長（助産師一人）が人材不足分をカバーしているようではいいケアの提供はできない。
	常時の人員確保【1】	需要にばらつきがあり、最大必要な人材を常に確保しておくことは難しい。
	ノウハウ【1】	人材を確保していくための術が欲しい。
有効活用【3】	既存人材の活用【2】	施設を持っていないフリーの出張助産師をもっと上手く活用するとよい。
		助産師バンク的なものが、地区単位であるとうよいと思う。
	新規人材開拓【1】	家庭に眠っている専門家の掘り起こし。
看護職以外の協力【4】		保育士がいてくれたら、きょうだい入院も可能にかかるかもしれない。
		様々なケアを提供するためには、保育士、カウンセラー等多職種が連携していくことが必要だと感じるが、常駐は運営的に厳しい。
		支援専門のヘルパーの教育・育成を図る。
経験・スキル【3】		母子のケアにあたる上で、助産師の技術や育児スキル、子育て経験等多くのスキルが求められるため、人材を確保することがとても難しい。
		かなり専門的な知識も必要となる。助産師であっても研修が必要。